

2015岡山市芸術祭

岡山市民の文芸

第47回岡山市民文芸祭受賞作品

ジュニアの部

【詩】

◎岡山市長賞

あり

今 岡 海 斗 （鹿田小六年）

——自分たちは生まれる
地面の深いどくつの中で
えものを見つけるとおそいかる
小さな小さな水てきを体中にまといながら

たまに自分の百倍ほどの高さの巨人から砂でよこれたでこぼこしたものでたたかれる、
大きい五本のミミズが合体したもので遠くに飛ばされる
しかし自分はそれにのぼり、黒い毛がはえているうすい茶色のやわらかいものにかみつく

——自分の信念という大切なものを、こわさせないように——

やがて自分たちは倒れてゆく
体はこわれ、信念はこわれずに灰になってゆく

◇岡山市教育委員会教育長賞

僕の中の台風

近藤悠斗（県立岡山盲中学部一年）

僕の中には台風がいる

その台風は 時々暴れる

僕の中で台風が暴れると

僕の体も 暴れる

「シズマレー！」と願っても

台風は 暴れる

家の中をぐるぐる歩き回っても

台風は 暴れる

いつも 僕は台風と戦っている

台風は 強い

台風と戦うのは しんどい

僕は台風に 負けてばかりだ

こんなことやめて

広い草原で

僕の中の台風が なくなるまで

大声で

さげびたい

だけど

そんなこと できない

僕は知りたい

僕の中の台風を しずめる方法を

鹿

服部愛弓（鹿田小六年）

カリ カリ カリ
人間がいつも たべものくれる
幸せだ

むしや むしや むしや
森の中 さがせば
いつでも 食べられる
幸せだ

なんで せんべい食べないの
どうして 草を食べないの
なんで 人間がきらいなの
どうして 人間が好きなの

町の鹿 田舎の鹿
2 ひきの鹿が けんかしてる

満腹 まんぷく
次は 私たちを
さわらせてあげる
なで なで なで

満腹 まんぷく
次は 仲間と草原を
走りまわろう
ピョン ピョン ピョン

なんで 草原なんか 走るんだ
どうして 草原を走らない

なんで 人間からにげるんだ
どうして 人間に近よるんだ

場所がちがうと
生活 変わると
どちらの生き方 幸せか

【短歌】

◎岡山市長賞

夕立ちだおどるいなづま打つたいこ入道雲は今日夏まつり

田中瑞基（浮田小六年）

◇岡山市教育委員会教育長賞

だれよりも一生懸命背伸びしてきらきら咲くよ大きなひまわり

濱田萌波（鹿田小六年）

グラウンドたった一日の正念場そこでは見えぬかくされた汗

田嶋大祐（灘崎中二年）

【俳句】

◎岡山市長賞

くたくたのランドセルにも夏休み

小林優貴（鹿田小六年）

◇岡山市教育委員会教育長賞

夏の日
の平和をねがう
白いハト

森安恭恕（朝日塾中等教育一年）

たいふうではやくも
らったつうちひよう

中山瑛聖（御休小一年）

【川柳】

◎岡山市長賞

まどふきのぞうきん
洗いほしてあげる

船越風花（鹿田小四年）

◇岡山市教育委員会教育長賞

あいさつで始まる
人の会話だね

向井美咲（鹿田小六年）

かえりみちきれいな
ゆうひがついてきた

平松大和（福田小一年）